

ワールドステイクラブの旅 報告

池上本門寺 参詣 お会式の雰囲気も味わう

企画委員会

池上本門寺は、日蓮聖人が入滅された場所で、日蓮宗の大本山です。お会式の予定日は、10月11日～13日で30万人の参拝者があるそうです。今回は、その少し前に参詣し雰囲気味わいました。

最寄り駅の東急池上線「池上駅」から、お寺までゆっくりと歩いて15分ほどです。歴史的風情が残る参道で、由緒ある石碑もありました。忘れてはならないのが老舗の久寿餅（くずもち）です。当日は、気温30度前後で、まだまだ日差しを強く感じるものの、木陰を選べば秋の訪れを感じる風も感じられました。商店の店先や出入り口の所に、お会式の華やかな様子のポスターが貼付してあり、門前町の伝統の雰囲気を残していました。

日時：2024年9月26日（木）午後半日
時間：集合東急池上線池上駅 改札13時30分
解散 現地16時

順路 集合＝池上駅改札→本門寺通り→総門→此経難持坂（しきょうなんじざか）→五重塔→力道山の墓→仁王門→池上本門寺大堂→仁王門→池上会館→エレベーター→総門入口→くずもち屋→池上本通り商店街→池上駅＝解散

距離： 歩数8千歩

参加者：11名

費用：各自負担（現地往復交通費、飲物代、賽銭他）

池上本門寺の場所 東急「池上駅」から15分



参拝へ出発 南無妙法蓮華經の碑の前



日蓮の日蓮宗

鎌倉期の仏教で、蒙古襲来を説いて当時の幕府から排斥されました。龍ノ口の法難、伊豆へ流され、佐渡に配流されるなど、数々の困難に逢っています。南無妙法蓮華經のお題目を唱えることを重視している、題目系仏教です。境内の大きな日蓮さんの像が、見守っていました。



池上本門寺 堂宇が実に立派

本門寺へは、呑川にかかる霊山橋を渡ります。橋のたもとに題目宝塔があります。南無妙法蓮華經のお題目が正面に刻まれた石塔で、日蓮宗の本山の入り口です。記念写真をこの前で撮りました。



この奥に堂々と聳え立つのが池上本門寺で、大本山の名にふさわしく立派です。開祖・日蓮聖人の入滅（臨終）の地として知られる境内は、木々に囲まれた厳粛な雰囲気です。まさにパワースポットの的です。境内の広さは7万坪で、法華經69,384字にあやかって決めた広さとのことです。

本門寺総門

ここを潜ると、いよいよ本門寺の境域です。高麗門形式で、300年も前の元禄年間の建築だそうです。大田区の指定文化財で、大本山の寺格に相応しく堂々かつ厳かでした。



此経難持坂（しきょうなんじざか）

総門をくぐると、この96段の石段です。戦国武将の加藤清正が寄進したそうです。お約束通り、右側に女坂があります。総門の右手にある池上会館のエレベータを使用すると、この階段を回避できるので、活用しました。



仁王門

1945（昭和20年）の空襲で焼け落ち、1977（昭和52年）に再建されたもので、新しいものです。門の両側には阿吽の仁王様が鎮座していました。



五重塔 関東最古重要文化財で、徳川二代目秀忠が建立したそうです。近づくとも、聳え立つ存在感が迫ってきます。



大堂（祖師堂）

仁王門をくぐると見えてくるのが、大堂です。開運厄除け、良縁成就などなどご利益が一杯です。内部は広くて立派で、飾り物が豪華絢爛で、目を見張りました。思わず頭が下がる荘厳さ、心に響きました。



お会式

江戸時代より盛大に執り行われている法要行事です。今では、お会式というと、日蓮聖人の命日をさすようになりました。秋の季語です。

ご命日が10月13日ですので、その前後にいろいろな行事が営まれています。その様子は、江戸の浮世絵になっています。



今回の参詣時には、大勢の仕事師さんが剪定をし、飾り付けの準備に大忙しでした。

墓域の様子

格式が高い寺の象徴の高く広いお墓が、あちこちにありました。それに添える松の大木が松柏の趣を倍加していました。



力道山の墓

本門寺の奥まったところに、力道山の墓がありました。空手チョップで外人レスラーと戦ったスーパースターでした。新橋駅前の街頭テレビで、試合を見る人たちが大勢集まっているのが、しばしばニュース映画で上映されていました。懐かしいですね。



本門寺門前町 レトロモダンな商店街



池上駅前から池上本門寺に通じている本門寺通りを進むと、六郷用水跡や池上本門寺参道の石碑、木格子の家などがあり、歴史的な情緒を満喫しました。

この通りの両側に、ご当地の老舗の久寿餅屋が並んでいました。今回の参加者から、「御殿のようなくずもち屋さん」と声があり、一同納得でした。

久寿餅



浅野屋本舗、池上池田屋、藤乃屋、が本門寺通りにありました。

三角に切り分けられた形で、これに黒蜜をたっぷりとかけさらに黄な粉もたっぷりかけて食べます。香りと甘みが立って、なんとも言えぬ旨さです。見た目はシンプルそのもの、上にかけるものもシンプルそのもの、舌にのせ、食した味わいと同時に鼻に抜ける香りは、なるほど老舗が自慢するわけに納得しました。

参詣後の懇親会

池上駅ビルのコーヒーショップで、爽やかにおしゃべりして解散しました。